

# 玉村町 文化財通信

2023年2月7日発行

(次号3月発行予定)

第10号



～ちよっとそこまで古探訪～

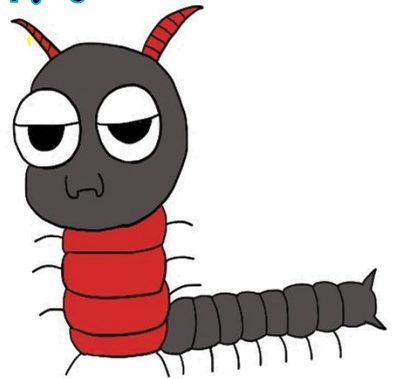
## 玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.9



先月号の箱石の設楽家に伝わる刀は、「百足(むかで)丸」と呼ばれています。この刀は「代々ひと目見ただけで目がつぶれる」と語り継がれ、黒塗りの桐箱に封印して、屋根裏に吊るされたままでした。ところが、学校の展覧会に出品を請われ、思い切って開封すると、中には鼠の糞と鼠が食い荒らした巻物の反古と軸、そして刀が共にありました。ちなみに、玉村地方ではむかでのことを方言で「むかぜ」と呼んでいます。

今回は、歴史資料館で1月6日(金)より開催している、昔の道具展『すごいぜ! 昔の道具たち』で展示している資料の中から紹介します。このミニ企画展では、電気やガスがまだ普及していなかった頃に使われていた道具を中心に展示をしています。その内の一つ、戦後すぐに発売された、国産の卓上用魔法瓶です。頭部の形がある動物のくちばしに似ていることから、「ポット〇〇〇〇」の愛称で親しまれていました。1948年(昭和23)～1956年(昭和31年)までの長期にわたって市場に出ていました。内側が二重構造で、内と外のすき間が真空になっていて熱が伝わるのを防ぎます。この古典的な風雅なポットは、1988年(昭和63)に復古調の波に乗って、ふたたび市場に出て人気を得ました。

ぜひ、何の動物のくちばしに似ているのか、その愛らしい姿を観に歴史資料館へ足を運んでみてください。



### イラスト募集!

今後みなさんのスケッチをもとに、『玉村町歴史どうぶつ散歩マップ』を作成したいと考えています。ぜひご協力ください!

資料館へイラストをお持ちいただいた方には、プレゼントを差し上げます☆彡



### 古写真の効用

近年は白黒の古写真をカラー化する試みが行われています。話題になった『AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』(光文社新書、町立図書館にあり)を見ていると、戦前がぐっと身近に思えてくるから不思議です。

玉村町に残る白黒写真もカラー化できれば面白いと思います。ネックは手間と費用でしょうか。カラー化するのに一枚あたり数千円かかるともいいます。しかし、今後、少ない手間と費用でできるようになるはずです。それには何ととっても、まずは古写真を取っておくことが求められます。当館でも、できるかぎり古写真を収集したいと思います。

### 重田家住宅

～公開・活用にむけて⑩～

巷では水道凍結や降雪など冬本番を迎える中、極寒にめげず元気に開館しています。

さて、今月の重田家ですが、11日(土・祝)11～15時まで【ギフ】を題材にしたTAMAりんべえ(民間主導)の催事が開催されます。キッチンだけでなく様々なお店が出店しますので、お気軽にお出かけ下さい。翌18日(土)は町主催の《論語を読む》が開催されます。席は残り僅かですが、ご興味のある方はご参加ください。

(重田家住宅管理担当者)

公開情報：平日の水・木・金曜日及び、催事開催日の10時～16時(通常16時迄に退去)

# 文化財・歴史資料館 情報

## 国登録有形文化財「重田家住宅」活用イベント ～心も体もリラックス～春の気功教室

日時：令和5年3月25日（土）

①1回目 午前10時～②2回目 午前11時～

場所：重田家住宅（玉村町小泉42番地）

内容：五臓六腑の話や実技を体験します。

講師：気功 リラの会

定員：先着10名（各回5名） 参加無料

申込方法：3月6日（月）より電話または文化財係窓口にて受付

※事前申し込みが必要です。

※1回目と2回目の内容は同じです。ご希望の時間を選んでください。

※運動のできる服装と靴でお越しください。

※駐車場は重田家住宅南側に約20台あります。

## 玉村八幡宮にて消防訓練を行いました！

1月29日（日）、文化財防火デーにちなんで玉村八幡宮にて消防訓練を開催しました。大規模訓練は三年ぶりの開催となり、当日は、関係者ら含め約200名が参加しました。玉村消防署の指揮の下、下新田自主防災組織によるバケツリレーや婦人防火クラブによる水消火器訓練、玉村八幡宮職員による放水銃訓練、玉村町消防団による消火訓練を行いました。



## 令和4年度の早春の三大祭りのお知らせ

春鞆祭：中止 すみつけ祭：中止

稲荷神社獅子舞：中止

上記のお祭りのスタンプラリーを2月2日（木）～3月26日（日）まで歴史資料館にて開催します。ぜひ、お越しください。

## 令和4年度 歴史講座を開催します！

日時：①令和5年2月25日（土）②3月5日（日）

③3月11日（土）（全3回）

各回ともに午前10時30分～午後0時00分

場所：玉村町文化センター小ホール

内容：

### ①「寅さんと玉村宿」

小泉 信一氏（朝日新聞社論説委員）

### ②「養蚕と俳諧—まちづくりの原点—」

安保 博史氏（群馬県立女子大学教授）

### ③「大字誌のススメ

—『大字誌・角淵』の取り組みから—

築瀬 大輔氏（群馬歴史資料継承ネットワーク代表・群馬県立女子大学群馬学センター准教授）

定員：100名（先着順） 受講料：無料

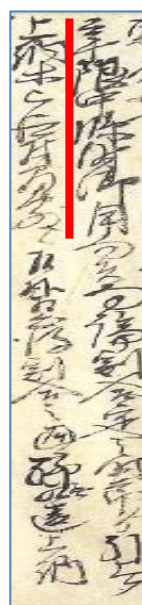
申込方法：1月26日（木）より電話または文化財係事務室窓口・歴史資料館カウンターにて受付（平日：午前9時～午後5時、土・日：午前10時～午後4時 祝日除く）

## 古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「安政二年五月十二日地頭御用金上納督促状」を毎回少しずつ読んでいきます。第十回目はこの文章を読んでいきましょう。

書き下し文：引上ケ上納等被 仰付間敷候、  
読み方：ひきあげじょうのうなどおおせつけられまじくそうろう、  
現代語訳：上納金などの額を引き上げる命令をはいけない、

（次号へ続く）  
○玉村町誌別巻Ⅳ（三右衛門日記一）と別巻Ⅴ（三右衛門日記五）歴史資料館にて好評発売中！



☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館 （電話）0270-30-6180

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

